

# 令和7年度 学校評価アンケート 集計結果

## 藍住中学校

### 目次

- P1 生徒アンケート集計結果
- P4 保護者アンケート集計結果
- P7 教職員アンケート集計結果
- P11 学校評価アンケートについて

番号	質 問	肯定的な回答 (%)			3年間の推移グラフ
		2年前	昨 年	本 年	
1	学校へ行くのは楽しい。	85.2%	88.2%	87.8%	
2	目標を持って、学校生活を送ることができている。	77.9%	79.0%	80.3%	
3	先生や他の生徒にあいさつがよくなっている。	87.1%	86.8%	87.1%	
4	自分は、服装や学校生活についての校則をよく守っている。	95.1%	96.0%	96.2%	
5	先生は、わかりやすく授業を進めている。	87.8%	90.5%	91.1%	
6	先生は、生徒が意欲を持って学習できるよう工夫している。	87.6%	90.5%	89.2%	
7	朝の読書やセミナー学習には進んで取り組んでいる。	74.2%	79.4%	79.1%	
8	課題（宿題）の量は、適切である。	77.1%	79.2%	79.6%	
9	毎日家庭学習ができている。	75.4%	78.0%	69.2%	
10	自分の学力は向上している。			67.4%	

11	藍中ならではの特色ある教育活動が行われている。	84.2%	80.1%	80.8%	
12	体育祭や文化祭などの学校行事は充実している。	95.9%	96.2%	95.8%	
13	制服や体操服は、今のデザインや形のままでよい。	69.1%	72.1%	76.8%	
14	先生は協力して教育活動を進めている。	90.3%	93.4%	95.5%	
15	相談事や悩みなど、気軽に相談できる先生がいる。	65.7%	69.7%	77.2%	
16	先生は、いじめや差別、暴力などのない明るく楽しい学校づくりに努めている。			92.7%	
17	様々な人権問題について学ぶ機会がある。	94.6%	93.4%	95.8%	
18	授業などで、人の生き方や心の在り方について考える機会がある。	91.2%	88.7%	93.7%	
19	総合的な学習の時間は、教科以外の様々なことを学ぶよい機会になっている。	93.7%	90.1%	95.1%	
20	将来の進路や職業について学ぶ機会がある。	83.7%	87.7%	86.2%	

21	学校の施設は、早めに修理されている。	84.2%	78.3%	79.8%	
22	自分は、交通安全のルールを守り、安全に登下校できている。	94.9%	97.6%	97.9%	
23	学校給食はよく工夫されており、おいしい。	95.9%	94.8%	90.4%	

番号	質 問	肯定的な回答 (%)			3年間の推移グラフ
		2年前	昨 年	本 年	
1	子どもは、学校生活を楽しんでいる。	86.7%	85.9%	89.2%	
2	子どもは、目標を持って学校生活を送ることができている。	68.9%	67.9%	71.7%	
3	子どもは、誰に対してもあいさつがよくできている。			81.8%	
4	教員は、校則の意義を説明し、主体的に遵守するように指導している。	77.8%	78.3%	89.8%	
5	教員は、わかりやすく授業を進めている。	72.6%	69.3%	81.8%	
6	教員は、生徒が意欲を持って学習するよう指導の工夫をしている。	69.3%	64.1%	81.5%	
7	読書の習慣や基礎学力をつけるために、朝読書や朝のセミナーの時間を設けるのはよいことだ。	95.9%	94.8%	95.4%	
8	課題（宿題）の量は、適切である。	78.5%	75.2%	75.7%	
9	子どもは、毎日家庭学習ができている。	57.8%	59.3%	51.4%	
10	子どもの学力は向上している。	45.6%	41.7%	46.2%	

11	藍中ならではの特色ある教育活動が行われている。	72.2%	63.8%	74.5%	
12	体育祭や文化祭などの学校行事は充実している。	91.9%	91.4%	94.8%	
13	制服や体操服は、今のデザインや形のままでよい。	64.1%	66.9%	67.1%	
14	教員は、よく協力して同じ方針で教育活動を進めている。	79.3%	75.9%	86.5%	
15	相談事や悩みなど、気軽に相談できる先生がいる。	53.0%	61.0%	71.4%	
16	教員は、いじめや差別、暴力などのない明るく楽しい学校づくりに努めている。	73.0%	73.1%	80.9%	
17	教員はすべての教育活動において、子どもの人権を尊重する姿勢で指導にあたっている。	79.6%	77.6%	84.0%	
18	学校は、人の生き方について考えたり、豊かな心を育てようとしていたりしている。	73.7%	68.6%	84.3%	
19	学校は、子どもたちに様々な体験的な活動をさせたり、講師を招いたりして学習を進めている。	82.6%	80.3%	89.2%	
20	学校は、将来の進路や職業について適切な指導を行っている。	68.1%	69.3%	76.0%	

21	学校の施設や設備については、安全に保たれている。	83.7%	85.2%	87.7%	
22	子どもの交通安全についてのルールを守る指導について、徹底できている。	76.7%	72.8%	81.2%	
23	学校給食はよく工夫されており、子どもはおいしく食べている。	90.7%	89.7%	86.5%	

番号	質 問	肯定的な回答 (%)			3年間の推移グラフ
		2年前	昨 年	本 年	
1	校長は、教育方針や学校運営についての考え方を明らかにしている。	100.0%	96.9%	86.7%	
2	学校運営に管理職のリーダーシップが発揮できている。	93.9%	93.8%	90.0%	
3	学校運営に教職員の意見が反映されている。	60.6%	90.6%	90.0%	
4	教職員の適性・能力に応じた校内人事や校務分掌の分担がなされ、教職員が意欲的に取り組める環境にある。	75.8%	87.5%	76.7%	
5	職員会議をはじめ各種会議が、情報交換と課題検討の場として有効に機能している。	81.8%	90.6%	86.7%	
6	教育活動全般において、生徒や保護者の願いによく応えている。	87.9%	100.0%	93.3%	
7	各教科において、基礎・基本を明確にし、教材の精選や重点化を工夫している。	93.9%	96.9%	93.3%	
8	思考力・判断力等を重視した問題解決的な学習が展開できている。	81.8%	87.5%	80.0%	
9	グループ学習を取り入れたり、実習・実験や参加体験型の学習を行ったり、生徒が主体となる学習を工夫している。	81.8%	96.9%	86.7%	
10	コンピュータをはじめ各種の教具や機器が、授業等に活用されている。	93.9%	100.0%	80.0%	

11	SLタイムを有効に活用できている。	78.8%	81.3%	76.7%	
12	本校は、特色のある教育活動が展開できている。	97.0%	84.4%	80.0%	
13	いじめや差別、暴力行為等、様々な問題行動などの防止のための指導に取り組んでいる。	93.9%	100.0%	96.7%	
14	学校行事が生徒にとって魅力のあるものとするために、工夫改善を行っている。	90.9%	96.9%	96.7%	
15	学校の校則や方針について、子どもが自律できるよう支援できている。	87.9%	90.6%	96.7%	
16	生徒会活動や専門委員会の活動は充実している。	81.8%	93.8%	86.7%	
17	環境・国際理解・福祉・ボランティア・情報などの教育課題について計画・実施できている。	63.6%	75.0%	73.3%	
18	長期休業の短縮など、授業時数確保の取り組みは適切である。	84.8%	90.6%	80.0%	
19	あらゆる教育活動において、子どもの人権を尊重する姿勢で指導にあたっている。	100.0%	100.0%	93.3%	
20	生き方について考えたり、豊かな心を育てることについて、指導することができている。	78.8%	90.6%	90.0%	

21	子どもたちに様々な体験的な活動をさせたり、講師を招いたりして学習を進めている。	84.8%	93.8%	83.3%	
22	将来の進路や職業について適切な指導ができています。	93.9%	96.9%	90.0%	
23	生徒一人ひとりが興味・関心・適正等に応じて進路選択ができるよう、きめ細かな情報提供を行っている。	93.9%	93.8%	86.7%	
24	交通安全や交通ルールを守ることの指導を徹底している。	84.8%	96.9%	83.3%	
25	事故、事件、災害等に対して、迅速で適切な対応ができるような組織の体制が整っている。	97.0%	96.9%	86.7%	
26	施設・設備について、日常的に点検や管理が行われている。	87.9%	94%	83.3%	
27	教職員は、学校の美化についての意識があり、よく務めている。	87.9%	94%	83.3%	
28	日々の教育活動における問題意識や悩みについて、気軽に相談し合えるような職場の人間関係ができています。	87.9%	100%	96.7%	
29	年休や夏休、リフレッシュ休暇は取りやすい。	87.9%	100%	93.3%	
30	職場としての学校の施設・設備等の環境面は満足できている。	90.9%	91%	90.0%	

31	教員の間で、指導方法等について検討する機会を積極的に持っている。	60.6%	81.3%	80.0%	
32	教育活動に必要な情報を積極的保護者に知らせよう努めている。	97.0%	93.8%	86.7%	
33	個人情報保護の観点から、生徒の個人情報に関する管理が十分できている。	90.9%	96.9%	93.3%	
34	小学校との連携は効果的にできている。	51.5%	62.5%	56.7%	
35	通知表の評定については、保護者に十分説明できるだけの資料に基づいて行っている。	100.0%	100.0%	100.0%	
36	学校として部活動の地域移行に向けて取り組んでいる。	66.7%	56.3%	40.0%	

## 令和7年度学校評価アンケートについて

2026.2.

### 1. 生徒のアンケート結果

#### (1) 成果

##### ・規範意識とルール遵守

校則の遵守（4）： 95.1%（2年前）→ 96.0%（昨年）→ 96.2%（本年）

3年間継続して95%を超えており、生徒一人ひとりの規範意識が高く、落ち着いた学校生活を送られている。

##### ・学校行事への高い満足度

学校行事の充実（12）： 95.9%（2年前）→ 96.2%（昨年）→ 95.8%（本年）

体育祭や文化祭などの行事に対し、95%以上の生徒が手応えを感じている。

##### ・主体的な態度の向上

目標を持った生活（2）： 77.9%（2年前）→ 79.0%（昨年）→ 80.3%（本年）

緩やかではあるが、自律的に目標を立てて行動できる生徒が増加傾向にある。

#### (2) 課題

##### ・家庭学習習慣の急減

家庭学習の実施（9）： 75.4%（2年前）→ 78.0%（昨年）→ 69.2%（本年）

前年度から約9ポイントと大幅に低下した。宿題の量（8：79.6%）や授業のわかりやすさ（5：91.1%）は高い水準にあるため、家庭での学習時間をいかに確保し、自学自習の質を高めるかが大きな課題となっている。

##### ・学力向上の実感

学力向上の実感（10）： 67.4%（本年）

授業への満足度（89.2%）に比べると、自身の学力が伸びていると実感できている生徒は約7割となっている。

### 2. 保護者のアンケート結果

#### (1) 成果

##### ・学校生活の充実と規範意識の向上

学校生活の楽しさ（1）： 85.9%（昨年）→ 89.2%（本年）

校則・規律指導（4）： 78.3%（昨年）→ 89.8%（本年）

校則の意義説明や主体性を重んじる指導への評価が約11ポイントと大幅に上昇しており、生徒の納得感が高まっている。

##### ・教員の指導体制への信頼

いじめ・悩みへの対応（16）： 73.1%（昨年）→ 80.9%（本年）

教員の熱意（14）： 75.9%（昨年）→ 86.5%（本年）

8割以上の保護者がいじめ対応等に安心感を持っており、教員の対応も評価されている。

#### (2) 課題

##### ・家庭学習の習慣化（9）

肯定率：51.4%

昨年の59.3%から約8ポイント低下しており、全項目中で最も低い数値となっている。宿題の量（8：75.7%）は概ね適切とされているが、自学自習の定着には家庭との連携強化が急

務となっている。

・**学力向上の実感** (10)

肯定率：46.2%

5割を下回る状況が続いている。授業のわかりやすさ（5：81.8%）は改善傾向にあるため  
今後は「わかる」だけでなく「力がついた」と実感できる評価のフィードバックや可視化が  
求められる。

### 3. 教員のアンケート結果

#### (1) 成果

・**高い人権意識と心の教育**

人権尊重の姿勢 (19)： 93.3%

豊かな心を育てる指導 (20)： 90.0%

昨年の 90.6%から引き続き高い水準を維持しており、生徒一人ひとりを大切にする姿勢が深  
く浸透している。

・**組織的な課題解決体制の定着**

教職員の意見反映 (3)： 60.6% (2年前) → 90.6% (昨年) → 90.0% (本年)

2年前の 6割から大幅に向上し、風通しの良い組織運営が定着している。

・**不登校・いじめへの迅速な対応**

いじめ・不登校対応 (13)： 96.7%

生徒・保護者のアンケートでも高評価だったこの項目は、教員側も「組織的に対応できてい  
る」と強い手応えを感じる。

#### (2) 課題

・**校務分掌の負担感**

意欲的に取り組める環境 (4)： 87.5% (昨年) → 76.7% (本年)

役割分担のバランスに課題を感じている層が増えている。

### 4. 生徒と保護者のアンケート結果より

「学校の楽しさ」「安全・安心」「規律」については、生徒・保護者ともに非常に高い満足感  
を得ているように感じられる。しかし、「家庭学習」については、生徒自身は「できている」  
と感じていても、保護者から見ると不十分であると感じることが多いようだ。また、授業への  
評価も生徒の方が高く、保護者へは授業内容の工夫が伝わりにくい側面があるのかもしれな  
い。

### 5. 次年度に向けて

2年間における授業改善の成果が、わかりやすい授業につながっている。しかし、生徒の学  
力向上にはつながっていない現状である。ICTを利活用しながら生徒の学力向上につながる  
ように工夫していきたい。保護者に対しても様々なツールを通して学校の状況を伝えられるよ  
うにしていきたい。また、教職員の業務についても改善を図っていきたい。